

Ⅲ 産 業

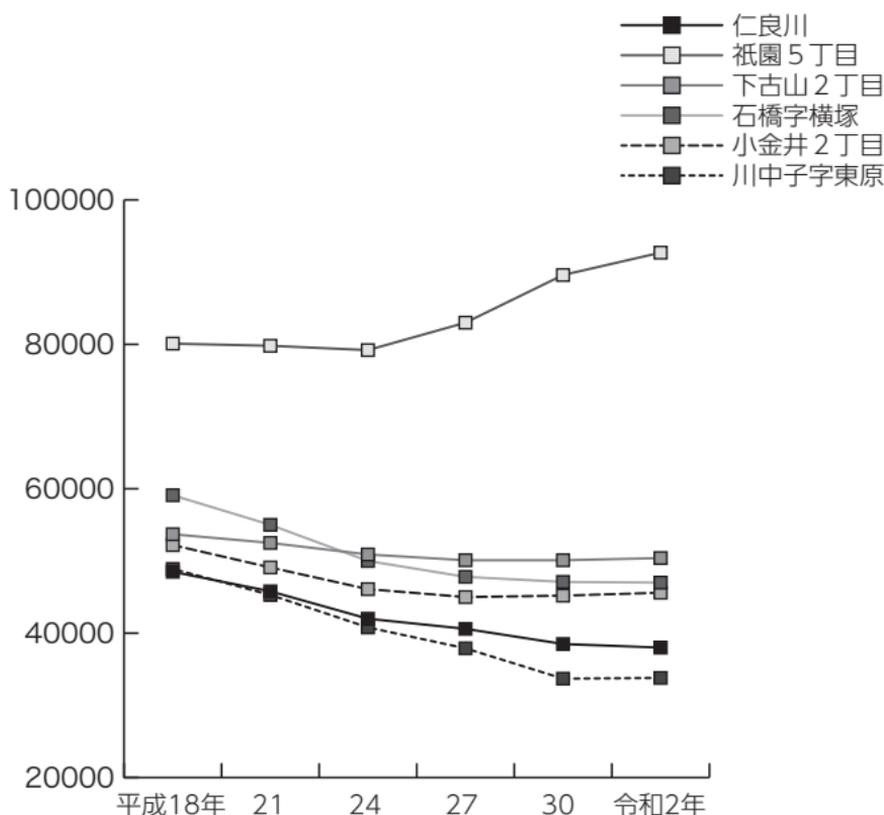
1. 地価動向

住宅地の地価

単位：円/m²

	平成18年	21	24	27	30	令和2年
仁 良 川	48,500	45,800	42,000	40,600	38,500	38,000
祇園5丁目	80,100	79,800	79,200	83,000	89,600	92,700
下古山2丁目	53,700	52,500	50,900	50,100	50,100	50,400
石橋字横塚	59,100	55,000	50,000	47,800	47,100	47,000
小金井2丁目	52,200	49,100	46,100	45,000	45,200	45,600
川中子字東原	48,900	45,300	40,800	37,900	33,700	33,800

資料：地価公示



解 説

地価公示は、地価公示法第2条第1項の規定に基づき、国土交通省土地鑑定委員会が毎年1月1日における全国の標準地の正常な価格を調査、公示するものです。地価公示制度は、一般の土地の取引価格の指標、不動産鑑定士等の鑑定評価の規準、公共事業用地の取得価格算定の規準とされ、また、相続税評価、固定資産税評価の目安、国土利用計画法に基づく土地取引の届出制における価格算定の規準等となるものです。

2. 産業

(1) 産業別就業者数

第1次産業、第2次産業ともに就業者数は減少傾向となっているが、反対に第3次産業の就業者数は増加している。

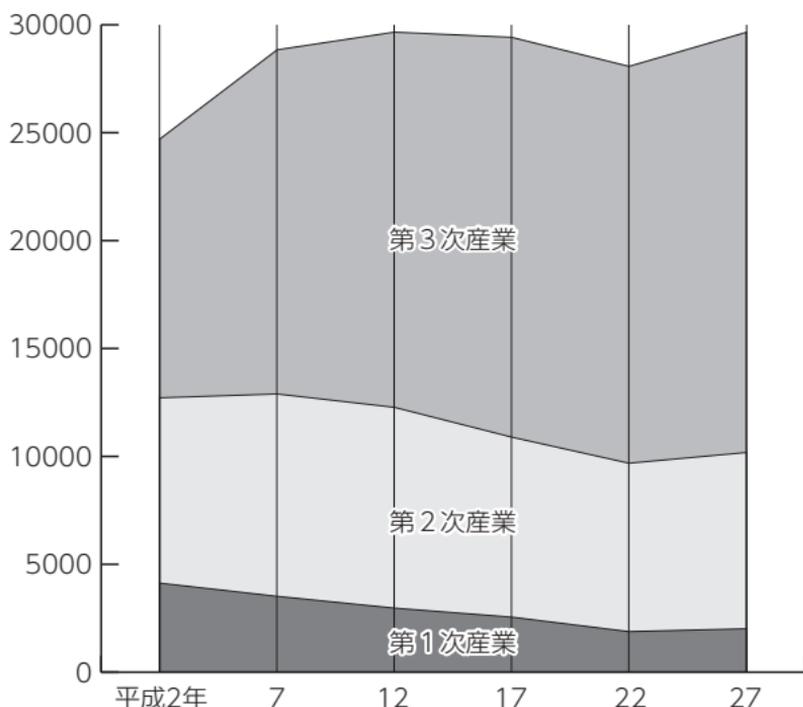
産業別就業者数の推移

単位：人

	平成2年	7	12	17	22	27
第1次産業	4,129	3,517	2,971	2,553	1,881	2,015
第2次産業	8,585	9,376	9,302	8,340	7,803	8,165
第3次産業	11,974	15,922	17,387	18,526	18,390	19,471

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：国勢調査



解説

国勢調査に用いている産業分類は、日本標準産業分類を国勢調査に適合するように集約して編成したものであり、産業大分類を3部門に集約している場合、おおむね以下のような区分になる。

第1次産業・・・農業、林業、水産業

第2次産業・・・製造業、鉱業、建設業

第3次産業・・・卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業など

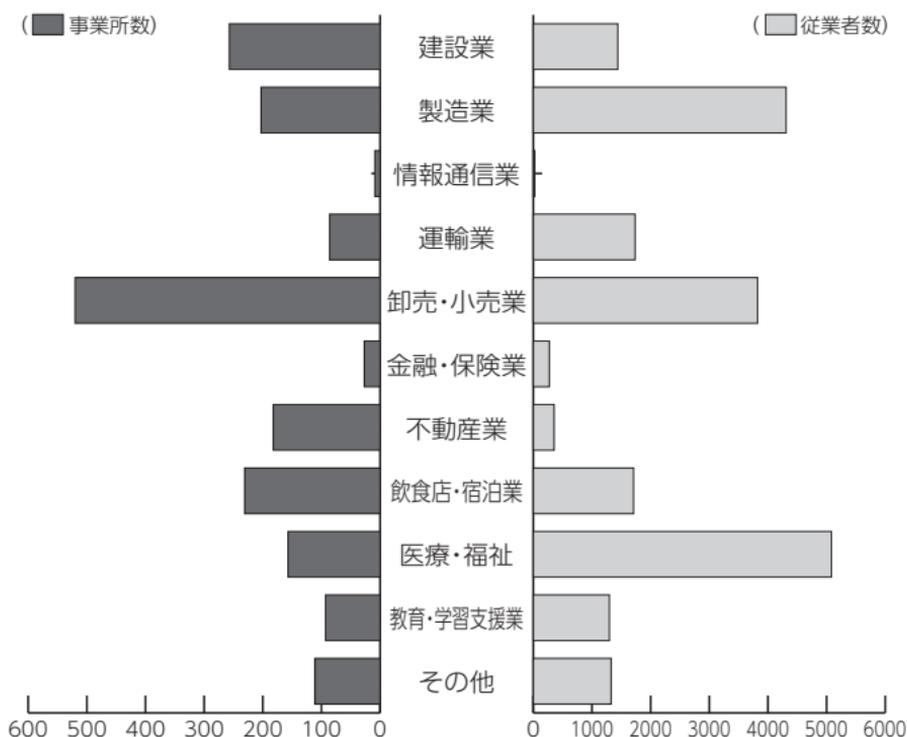
(2) 事業所数と従業者数

事業所数は卸売・小売業が最も多いが、従業者数は医療・福祉が最も多くなっていることから、医療・福祉に関わる人が多いことがわかる。

産業(大分類)別事業所数と従業者数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
事業所数	257	203	9	86	520	27	182	231	157	93	111
従業者数	1,440	4,310	25	1,735	3,823	272	355	1,709	5,083	1,297	1,326

資料：平成26年経済センサス基礎調査



3. 商業

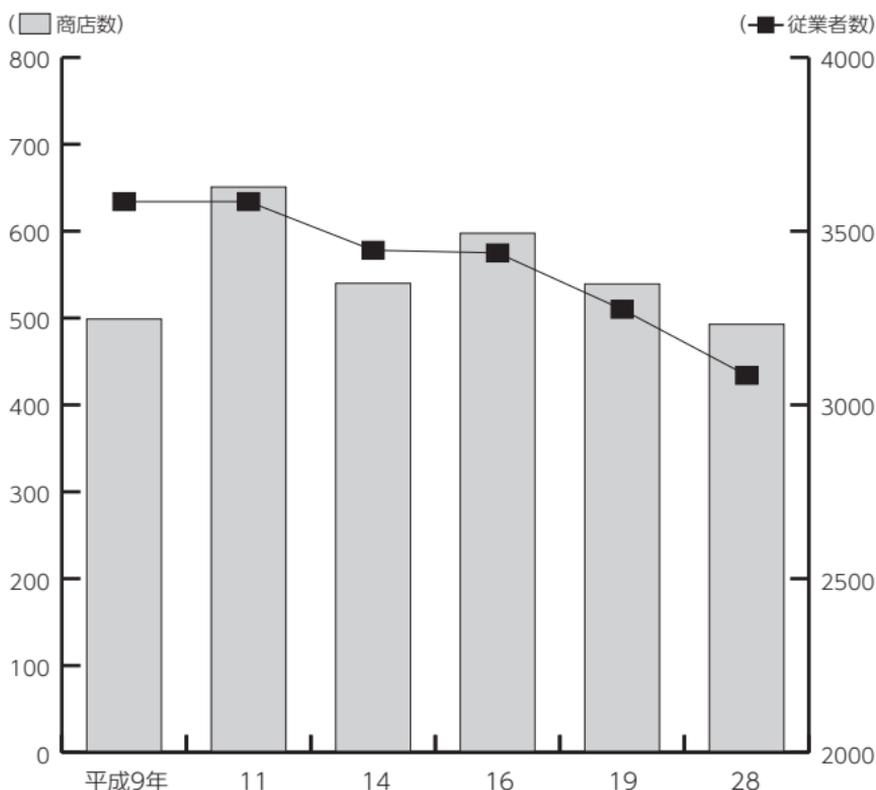
(1) 商店数と従業者数

平成9年から平成28年までの間に商店数はおおよそ3割減少しているが、従業者数の減少は1割に満たないことが分かる。

商店数と従業者数の推移

	平成9年	11	14	16	19	28
商店数	634	634	578	575	510	434
従業者数	3,247	3,627	3,350	3,494	3,348	3,232

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査



参考

平成28年経済センサス基礎調査の商店数と従業者数

	商店数	従業者数		商店数	従業者数
宇都宮市	4,794	44,375	真岡市	665	4,675
足利市	1,525	10,202	大田原市	693	4,352
栃木市	1,514	10,168	矢板市	319	2,062
佐野市	1,445	9,379	那須塩原市	1,190	8,967
鹿沼市	952	6,428	さくら市	326	2,355
日光市	934	5,306	那須烏山市	258	1,412
小山市	1,406	12,112			

平成28年7月1日現在

(2) 年間商品販売額

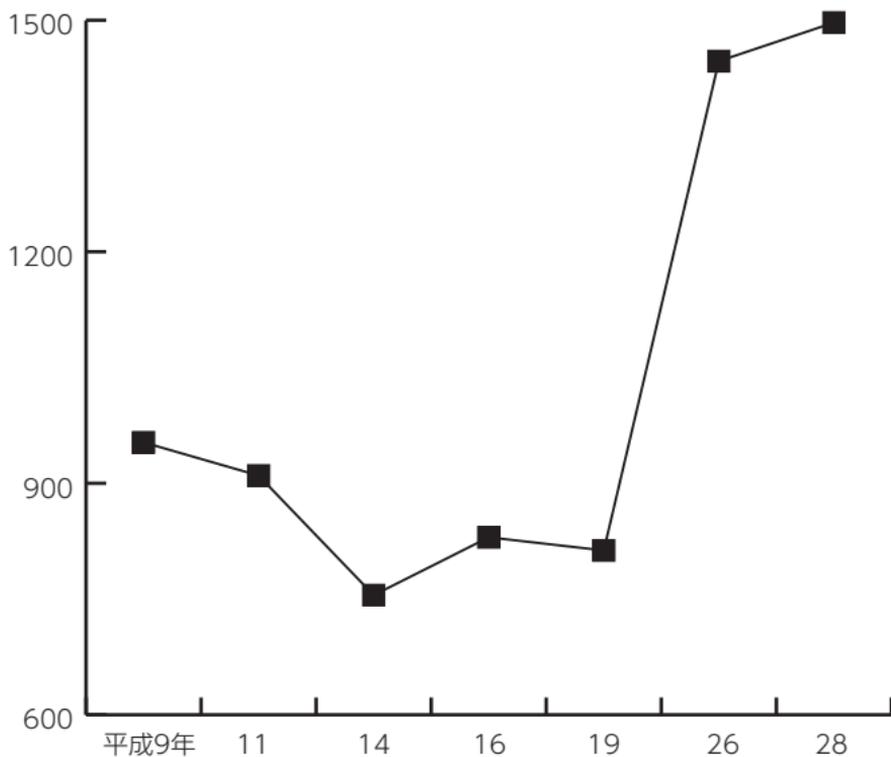
年間商品販売額は、商店数や従業者数の減少とともに減少傾向にある。
 ※平成19年以前と平成26年以降の比較にあたっては、調査区分の変更により集計対象が異なることに留意が必要である。

商店の年間商品販売額の推移

単位：億円

	平成9年	11	14	16	19	26	28
年間商品販売額	953	910	755	830	813	1,447	1,497

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査



参考

平成28年商業統計調査の年間商品販売額

単位：億円

宇都宮市	26,144	日光市	1,083	那須塩原市	2,635
足利市	2,806	小山市	4,509	さくら市	547
栃木市	2,842	真岡市	1,198	那須烏山市	314
佐野市	3,405	大田原市	1,214		
鹿沼市	1,939	矢板市	455		

平成28年7月1日現在

4. 工業

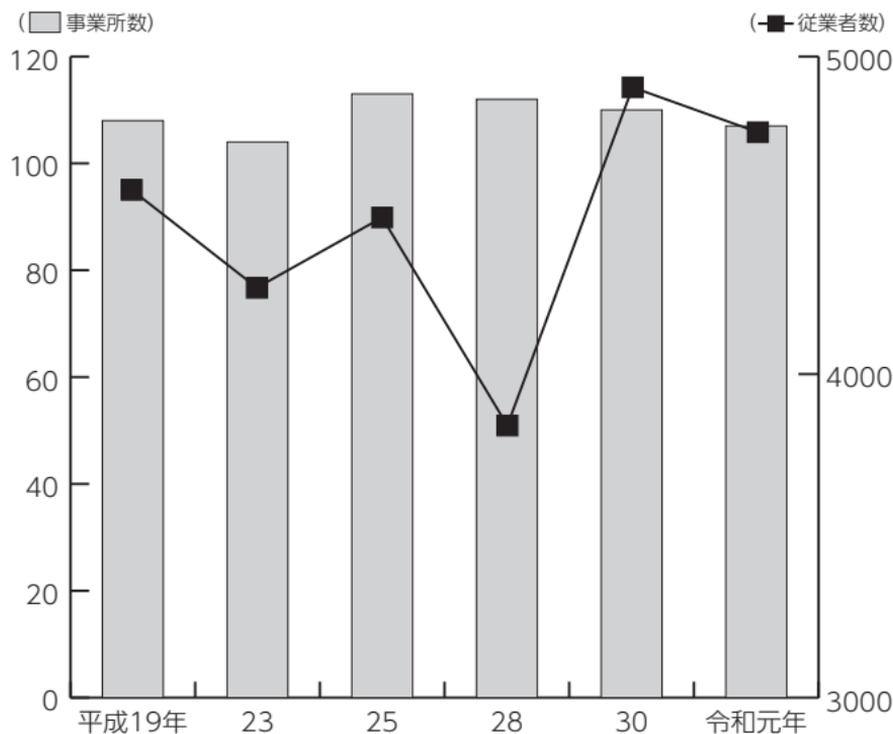
(1) 事業所数と従業者数

生産活動を行う事業所数はほぼ横ばいで推移しているものの、従業者数は減少傾向となっている。

生産活動を行う事業所数と従業者数の推移

	平成19年	23	25	28	30	令和元年
事業所数	108	104	113	112	110	107
従業者数	4,576	4,271	4,490	3,841	4,896	4,756

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業者4人以上の事業所)



参考

令和元年工業統計調査の事業所数

	事業所数	従業者数		事業所数	従業者数
宇都宮市	517	33,415	真岡市	171	13,539
足利市	510	16,140	大田原市	157	12,495
栃木市	399	20,005	矢板市	61	2,203
佐野市	410	14,546	那須塩原市	232	10,836
鹿沼市	398	14,237	さくら市	100	5,121
日光市	185	7,189	那須烏山市	115	3,211
小山市	271	18,605			

(2) 製造品出荷額

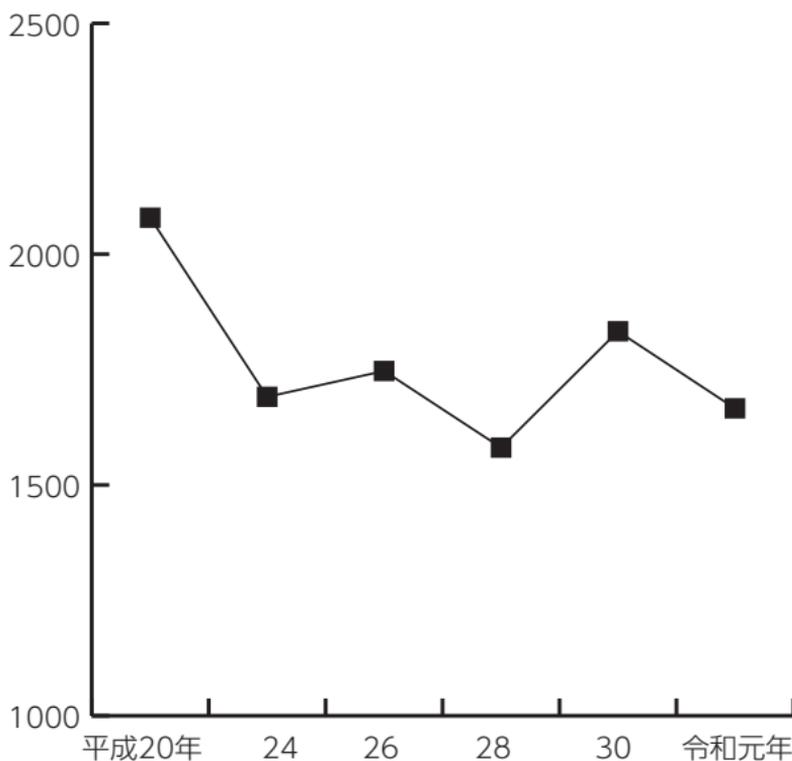
製造品出荷額は減少傾向にある。

製造品出荷額の推移

単位：億円

	平成20年	24	26	28	30	令和元年
製造品出荷額	2,079	1,691	1,747	1,581	1,833	1,666

資料：工業統計、経済センサス活動調査
(従業員4人以上の事業所)



参考

令和元年工業統計調査の製造品出荷額

単位：億円

宇都宮市	22,141	日光市	3,405	那須塩原市	3,553
足利市	3,989	小山市	9,837	さくら市	2,194
栃木市	11,199	真岡市	6,225	那須烏山市	654
佐野市	4,163	大田原市	6,693		
鹿沼市	4,423	矢板市	619		

5. 農業

(1) 農家数と経営耕地面積

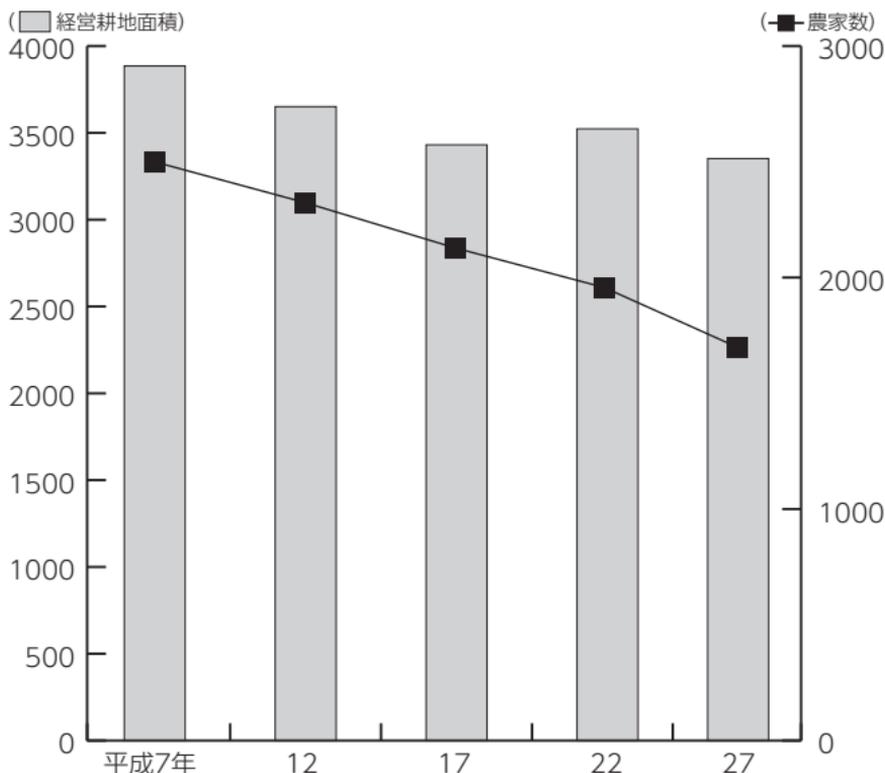
平成7年から27年にかけて、農家数はおよそ3割減少しているものの、経営耕地面積はおよそ1割程度の減少にとどまっている。

農家数経営耕地面積の推移

	平成7年	12	17	22	27
農家数(戸)	2,508	2,330	2,133	1,961	1,702
経営耕地面積(ha)	3,885	3,651	3,431	3,523	3,352

※ 3町の合計を下野市として作成

資料：農林業センサス



参考

平成27年農林業センサス (農家数：戸、経営耕地面積：ha)

	農家数	経営耕地面積		農家数	経営耕地面積
宇都宮市	5,218	9,899	真岡市	3,741	7,113
足利市	1,987	1,721	大田原市	4,151	10,233
栃木市	5,461	7,760	矢板市	1,163	2,651
佐野市	2,867	2,525	那須塩原市	2,820	8,648
鹿沼市	3,325	4,368	さくら市	1,707	4,394
日光市	2,264	4,295	那須烏山市	2,048	2,474
小山市	2,971	6,211			

平成27年2月1日現在

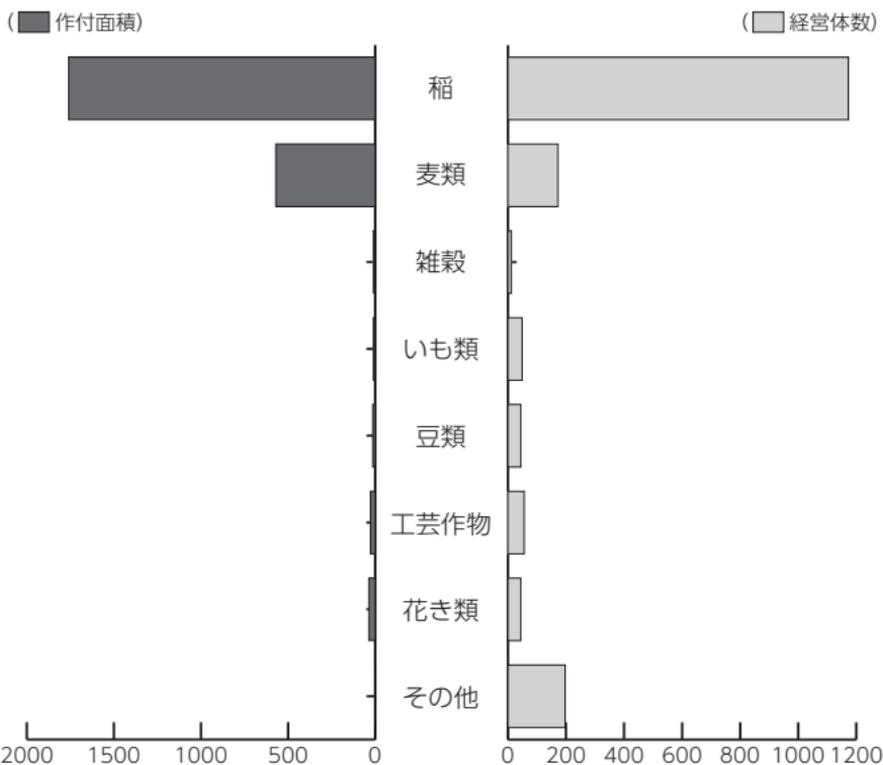
(2) 類別経営体数と作付面積

販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数をみると、稲が最も多く、作付面積も最も広いことがわかる。次いで麦類、工芸作物となっている。

販売目的で作付け(栽培)した作物の類別経営体数と作付面積

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他
経営体数(戸)	1,173	172	11	49	44	56	44	199
作付面積(ha)	1,760	570	8	9	14	27	36	—

資料：農林業センサス(平成27年)



参考

平成27年農林業センサス (経営体数：戸、作付面積：ha)

	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸作物	花き類	その他	
宇都宮市	経営体数	3,412	276	104	146	134	7	115	269
	作付面積	5,823	673	105	6	141	2	79	310
栃木市	経営体数	3,281	783	135	160	153	11	46	322
	作付面積	4,076	1,723	106	7	150		22	469
小山市	経営体数	1,648	370	46	54	72	21	45	287
	作付面積	2,179	861	202	10	118	9		296

平成27年2月1日現在

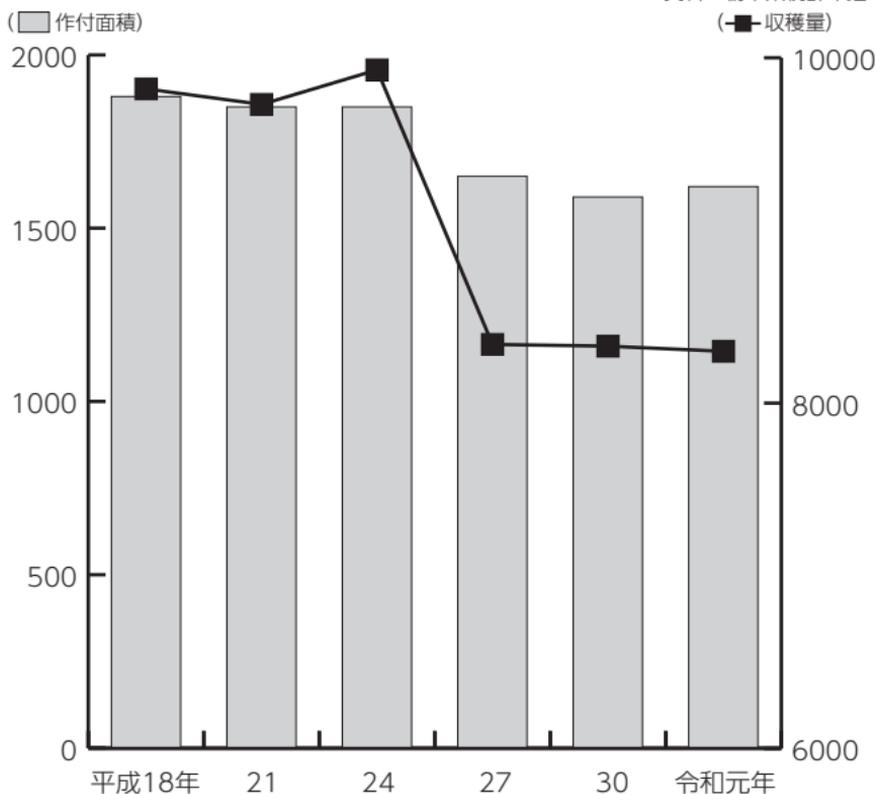
(3) 水稲収穫量と作付面積

平成18年と比べ、水稲の作付面積は微減となっており、併せて収穫量も微減になっている。

水稲収穫量と作付面積

	平成18年	21	24	27	30	令和元年
収穫量 (t)	9,820	9,730	9,930	8,340	8,330	8,300
作付面積 (ha)	1,880	1,850	1,850	1,650	1,590	1,620

資料：栃木県統計年鑑



参考

令和元年水稲収穫量と作付面積 (収穫量：t、作付面積：ha)

	収穫量	作付面積		収穫量	作付面積
宇都宮市	34,100	6,430	真岡市	21,200	3,940
足利市	4,850	1,030	大田原市	36,300	6,410
栃木市	28,200	5,780	矢板市	9,100	1,720
佐野市	8,140	1,780	那須塩原市	24,300	4,320
鹿沼市	10,600	2,160	さくら市	17,800	3,230
日光市	12,000	2,370	那須烏山市	7,810	1,460
小山市	14,700	2,990			

資料：栃木県統計年鑑

6. 林業

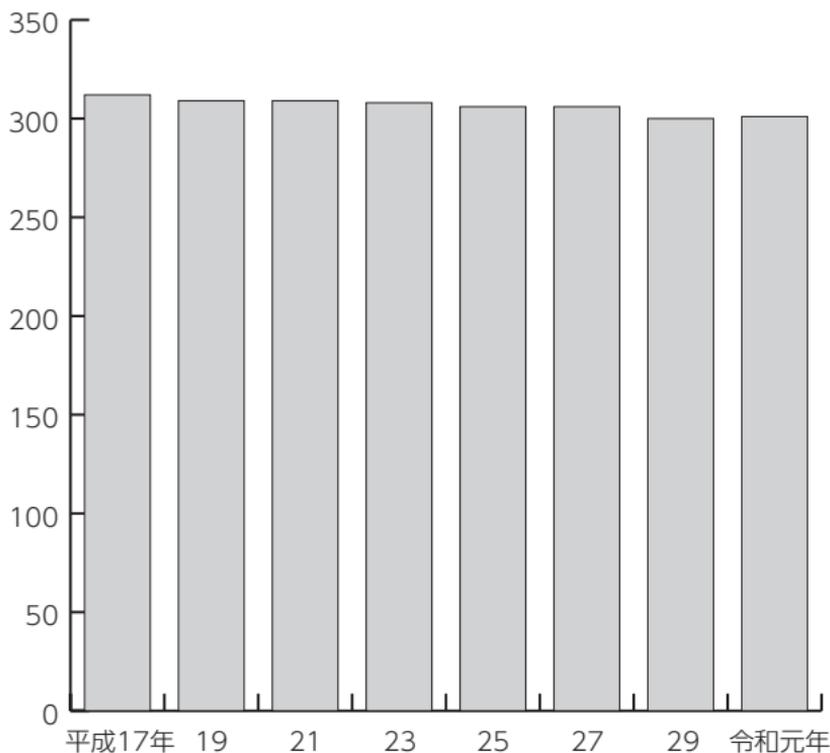
林野面積はほぼ横ばいで推移している。

林野面積の推移

単位：ha

	平成17年	19	21	23	25	27	29	令和元年
林野面積	312	309	309	308	306	306	300	301

資料：栃木県環境森林部



参考

令和元年の林野面積

単位：ha

宇都宮市	8,088	日光市	125,243	那須塩原市	38,487
足利市	7,947	小山市	551	さくら市	2,411
栃木市	8,380	真岡市	1,424	那須烏山市	8,127
佐野市	21,811	大田原市	15,293		
鹿沼市	33,655	矢板市	9,749		

資料：栃木県森林・林業統計書